



3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学
Hiroshima City University

【ドローンから観た瀬戸の島の地域資源 探索プロジェクト】

研究キーワード：まちなぎわいづくり、ドローン、地域資源探索、健康心理学

国際学部 国際学科

教授 山口 光明 YAMAGUCHI, Mitsuaki

研究シーズの概要

海に囲まれ、自然豊かな瀬戸の島々では、持続可能な地域の存続が危ぶまれる状況に陥っている。このような深刻な状況の中で広島市立大学の学生が地域の中に入り、「歴史的な建物や島内の魅力情報の探索・情報発信」を地域の人たちと協働で行うことで地域に貢献していきたい。

地域資源の探索方法として、ドローンを用いて空撮を行い、地元の人が気づいていない「地域資源情報の探索」を地元の自治会長、郵便局長、地元のくらし観光ボランティアガイドの人たちと情報共有をしながら行っていく。

研究シーズの詳細

◆研究例①◆

廃校となった小学校を中心とした歴史的な地域（鹿老渡地区）の活性化

島内の廃校（倉橋町鹿老渡）とその周辺の江戸時代に整備された美しい街並みといった地域資源の保全について、外部の若者（学生）の視点を加え、検討する機会を設ける。プロジェクト期間中は、この地域（倉橋島鹿老渡）において地域住民等と協働した美化活動に取り組む。



写真1 石橋区長との意見交換（元鹿老渡小学校にて）

◆研究例②◆

歴史的な建物や島内の魅力情報の探索・情報発信
忘れ去られた歴史的な施設（亀ヶ首試射場など）や廃校となっている鹿老渡小学校、鹿老渡エリアの街並み、瀬戸内が一望できる火山（ひやま）など、地域の資源を外部（学生）の視点を加えながらドローンで空撮を行う。これらの観光情報は、地元の行政（倉橋市民センター）やくらし観光ボランティアガイドの会に提供するほか、テレビ局からも要望があれば提供できるようにし、プロジェクト終了後も観光情報の発信が継続できる体制を造る。



写真2 亀ヶ首試射場のイラスト

想定される用途・応用例

- ◆ SETOUCHI の魅力的な地域のドローン撮影と地域資源の探索(呉市倉橋町、江田島市)
- ◆ SETOUCHI の まちなぎわいづくり（呉市倉橋町、江田島市）
- ◆ 人工知能による画像解析技術の提供（連携先：広島県水産海洋技術センター（呉市音戸町））

セールスポイント

地域の持つ地域資源を外部の若者視点から探索することでこれまで注目されなかった場所や瞬間の景色が見直される機会が生まれるかもしれない。合わせて、ドローンという鳥の目から見つけ出す地域資源の探索は新しい地域の魅力になり得る可能性を持っていると想像する。

使われなくなった廃校や廃業した歴史的な建造物（宮林旅館）、日本遺産として登録された亀ヶ首試射場などをこれからも地域資源として守っていくには何がふさわしいのか、地域の人と学生が共に考える機会が「持続可能なまちづくり」を考える絶好な学びの場と言える。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

（情報科学部棟別館1F）